



8月10日は「道の日」

道路ニュース

THE ROAD NEWS No. 550
平成27年9月号

発行所 全国道路利用者会議
〒100-0013
東京都千代田区霞ヶ関3-3-1
尚友会館6階
電話 03-3501-5611(代)
発行人 和田 浩
定価 20 円（会員の購読料は会費に含む）

平成28年度道路関係予算概算要求概要

事業費 4兆0,450億円（対前年度比1.09）
国 業 1兆9,254億円（対前年度比1.16）

道路関係予算概算要求総括表

（単位：百万円）

区 分	平成28年度(A)		前年度(B)		倍率(A)/(B)		備 考
	事業費	国費	事業費	国費	事業費	国費	
直 轄 事 業	1,816,855	1,816,855	1,569,078	1,569,078	1.16	1.16	1. 有料道路事業等の事業費については、各高速道路株式会社の建設利息を含む。 2. 有料道路事業等の計数には、高速道路連結部整備事業費補助、連続立体交差事業資金貸付金、電線敷設工事資金貸付金を含む。 3. 本表のほか、行政部費(国費10億円)がある。 4. 本表のほか、東日本大震災からの復旧・復興対策事業として国費2,619億円がある。また、東日本大震災からの復旧・復興対策事業として社会資本整備総合交付金等があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。 5. 平成26年度より社会資本整備事業特別会計が廃止されたことに伴い、直轄事業の「改築その他」の国費には、地方公共団体の直轄事業負担金(3,470億円)を含む。
改 築 そ の 他	1,330,641	1,330,641	1,152,189	1,152,189	1.15	1.15	
維 持 修 繕	364,168	364,168	296,487	296,487	1.23	1.23	
諸 費 等	122,046	122,046	120,402	120,402	1.01	1.01	
補 助 事 業	139,182	83,228	112,479	68,633	1.24	1.21	
地 域 高 規 格 道 路 等	110,076	61,864	86,385	48,507	1.27	1.28	この他に、社会資本整備総合交付金(国費10,574億円)、防災・安全交付金(国費12,853億円)があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。
大 規 模 修 繕 ・ 更 新	11,259	5,668	8,700	4,463	1.29	1.27	
除 雪	15,624	10,416	15,171	10,114	1.03	1.03	
補 助 率 差 額 等	2,223	5,280	2,223	5,549	1.00	0.95	
有 料 道 路 事 業 等	2,088,998	25,293	2,038,270	22,462	1.02	1.13	
合 計	4,045,035	1,925,376	3,719,827	1,660,173	1.09	1.16	

（優先課題推進枠に係る計数を除いた場合）

合 計	3,622,372	1,502,713	3,719,827	1,660,173	0.97	0.91	
-----	-----------	-----------	-----------	-----------	------	------	--

『東日本大震災からの復興加速』『国民の安全・安心の確保』
『豊かで利便性の高い地域社会の実現』『日本経済の再生』の4分野に重点化

国土交通省は、平成28年度道路関係予算の概算要求を8月27日に公表した。
道路関係予算概算要求概要は、事業費は対前年度比1.09の4兆0,450億円、
国費は対前年度比1.16の1兆9,254億円となっている。

事業別では、直轄事業の事業費が1兆8,169億円（対前年度比1.16）、国費が1兆8,169億円（対前年度比1.16）、補助事業の事業費が1,330億円（対前年度比1.24）、国費832億円（対前年度比1.21）、有料道路事業等の事業費が2兆0,890億円（対前年度

比1.02）、国費253億円（対前年度比1.13）となっている。
なお、この中には「優先課題推進枠」に係る係数（国費4,227億円）が含まれている。

この他に、社会資本整備総合交付金(国費1兆0,574億円)、防災・安全交付金(国費1兆2,853億円)、東日本大震災からの復旧・復興対策事業として国費2,619億円がある。

《基本方針》

平成28年度予算の概算要求については、「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」、「豊かで利便性の高い地域社会の実現」及び「日本経済の再生」の4分野に重点化を図る。

また、これらの課題に対応した施策を進めるにあたっては、

道路の機能を最大限発揮するため「賢く使う」生産性の向上や安全・安心を含めた生活の質の向上等の「ストック効果の重視」

の観点に留意し取り組む。

○東日本大震災という未曾有の大災害を踏まえ、平成28年度から平成32年度までの復興・創生期間における新たな枠組みに基づき、復興道路・復興支援道路の緊急整備を始めとする被災地域の早期復旧・復興に全力で取り組む

○国民の命と暮らしを守るため、老朽化する道路ストックについて、着実な点検及び措置等を適切に推進するとともに、道路の防災・震災対策や代替性の確保のための道路ネットワークの整備、無電柱化等を推進する。また、通学路の事故対策や踏切対策など暮らしの安

全に資する事業を推進するとともに、環境道路の整備に合わせたシームレスな料金体系の導入などネットワークを賢く使う取組による効果的・効率的な利用の促進やストック効果の最大化に向けた取組を推進する

○国際的な都市間競争が激化する中、我が国の成長力を確保するため、三大都市圏環状道路整備や空港・港湾アクセスの強化を推進す

るとともに、環状道路の整備に合わせたシームレスな料金体系の導入などネットワークを賢く使う取組による効果的・効率的な利用の促進やストック効果の最大化に向けた取組を推進する

“道路総合システムサービス”企業

NICHIREKI
二チレキ株式会社
東京都千代田区九段北4-3-29 TEL 03(3265)1511代表



平成28年度道路関係予算概算要求概要説明会

平成27年度「道路ふれあい月間」推進標語
『ささやかな道からの贈り物』
最優秀賞

9月2日(水)、東京都千代田区の霞が関ビルにおいて、平成28年度道路関係予算概算要求概要説明会が、全国道路利用者会議・道路整備促進期成同盟会全国協議会・道路利用者会議常任理事

議会の共催により開催された。
（新潟県田上町長）が挨拶を行った。

利用者と関係の地方会議、特別会員、道路ユーザ団体及び道路整備促進期成同盟会全国協議会関係者等約250名が参加した。はじめに、佐藤邦義全国道路利用者会議常任理事